

第1回上山市みらいの学校構想検討委員会 要旨 (R6.08.28)

<委員より出された主な意見>

- 本市の少子化が進んでいると聞いていたが、現状と将来予測の数字をみて驚いた。
この現実をしっかり受け止め、将来の子どもたちのために、夢を持ってワクワクするような内容となる検討会としたい。
- 高畠町や寒河江市では既に計画を策定し、より良い教育環境のための手段として学校の統廃合等を進めている。本市もようやく検討に入ることになり良かった。
良い教員人材の確保や魅力ある教育環境の整備を早急に進める必要性を感じた。
- 部活動の地域移行についても一緒に考えていかなければならない。
- 生産年齢人口が減少した場合、現在の学校数、学級数、教員数を維持することや税収で賄うことには限界があるのではないか。
- 学校施設が古くて暗く、子ども達も怖い場所がある。施設にも限界があり、改修が難しくても何等かの改善が必要。
- 複式学級は世界標準となっている。ICTを活用した事例もあり、メリット・デメリットを検討して行くことも必要だ。
- 市民の意見を伺い検討することに賛成。保護者のアンケートには幼児期の保護者もいてもらいたい。
- 上山らしい教育を進めるために、本市の自然や文化、歴史遺産を活かすことと共に、地域のお祭りなどで地域の大人と子どもと一緒に体験できる場を大切にしていきたい。

以上